

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	きらり児島		
○保護者評価実施期間	令和7年12月9日		～ 令和7年12月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32人	(回答者数) 28人
○従業者評価実施期間	令和7年12月9日		～ 令和7年12月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5人	(回答者数) 5人
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年1月20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援の質の向上を意識した事業所運営。	<ul style="list-style-type: none"> ◎朝礼・昼礼・終礼を通した、個別支援計画・利用児の変化等を常に共有している。 ◎事業所内勉強会を通して、支援のスキルアップを図っている。 ◎法人所属専門職(ST・OT・PT)へアセスメントや支援方法情報の提供依頼を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎専門的な支援の提供に向け、更に日々の振り返り時間を充実させ、事業所内研修の充足を図る。 ◎現状の支援提供には、まだまだ向上の余地はあるため、今後も支援の質の向上を研修や事業所での振り替りを通して行っていく。 ◎事業所外でのOFF-JTも促していく。
2	保護者支援の充実。	<ul style="list-style-type: none"> ◎電子連絡帳の活用により、保護者や所属園に対して文面+写真で日々の記録を共有することで日中活動の様子をイメージしやすくする。 ◎日々の困り感やお子さんの成長についてリアルタイムに共有することができる。 ◎保護者勉強会の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎継続してケアコラボを使用し積極的に共有を図る。 ◎保護者が集える場(茶話会や勉強会)の充足を図る。
3	関係機関連携を率先して行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ◎情報共有シートを使用した所属園連携の徹底。 ◎ご利用児様の様子を所属園や相談支援専門員と共有し、すぐに連携が必要な場合には迅速に連携を図ることができるように動いている。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎今後も継続して、率先した園連携・訪問を行っていく。 ◎家族や園からの情報提供を受けた場合、関係機関との連携を迅速に行う事ができるようにしていく。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	専門性や質の高い支援が必要。	<ul style="list-style-type: none"> ◎事業所内に専門職が常駐しておらず、より専門性の高い支援の提供が出来ないことがある。 ◎職員間で利用児への対応が統一できていない場面がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎外部研修への参加、専門職招いて事業所内勉強会を実施する等、職員のスキルアップを図ることができる研修体制を構築する。 ◎定期的な振り返りの場を設け、利用児への対応について意識統一を図っていく。
2	地域公益活動が不十分	◎現状、事業所内での支援が中心であり、外部へ出向いたり、地域と交流を図ったりする大々的な機会を設けることができていない。	<ul style="list-style-type: none"> ◎地域資源を活用した活動設定(買い物活動など)、日頃から関係性がある地域の場に訪問する等の機会を検討していく。 ◎児島地区の児童発達支援センターや所属園との交流をする機会を検討する。
3	卒園児のフォローが不十分。	◎事業所利用終了児へのイベントや活動について、実施の充実を図ることが出来ていない。	◎今年度、卒園児保護者に事業所での活動やイベントの案内を行った。全体的に浸透していない分、参加状況は芳しくないため継続して実施し活動への周知を図っていく。